

平成24年度 関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権—KGA杯—新潟ブロック大会 組合わせおよびスタート時間表

(参加者 105 名：男子A 62 名 / 男子B 22 名 / 女子A 11 名 / 女子B 10 名)

期日：9月4日(火)

場所：小千谷カントリークラブ

(18ホール・ストロークプレー)

1番よりスタート

関東ゴルフ連盟

組	時間	氏名	所属	HC	氏名	所属	HC	氏名	所属	HC	氏名	所属	HC
1	8:00	高野 律子	大新潟・出雲崎	7.8	木村 佑子	柏崎	11.5	八木 菜美子	松ヶ峯	13.2			
2	8:09	伊藤 美砂子	ノーブルウッド	8.2	横山 イツ子	妙高	10.3	福井 春子	柏崎	12.6	近藤 明子	大新潟・三条	15.4
3	8:18	徳島 妙子	新発田城	10.1	松木 麻子	フォレスト	10.1	山崎 すみえ	ヨネックス	14.3	小林 郷子	柏崎	14.6
4	8:27	船岡 芳枝	柏崎	15.9	高頭 淳子	長岡	21.9	和田 栄美子	中条	22.5			
5	8:36	銅冶 なをみ	長岡	15.7	目崎 セツ	小千谷	21.7	飯塚 文恵	柏崎	23.8			
6	8:45	岡部 寿美子	越後	20.0	杉田 洋子	小千谷	20.1	近藤 愛子	柏崎	25.1	佐藤 良子	長岡	28.0
7	8:54	中澤 忍	小千谷	5.9	朝倉 裕治	新津	8.8	高橋 守男	十日町	10.9			
8	9:03	浅田 忍	長岡	6.1	富沢 豊一	十日町	8.5	中沢 徳栄	ゴールド越後湯沢	10.8	清田 修	新津	11.8
9	9:12	石坂 猛	十日町	6.3	田尻 正敏	長岡	8.5	今泉 正輝	石地シーサイド	11.1	金澤 淳一	フォレスト	11.7
10	9:21	池田 慶一	十日町	6.4	白濱 秀樹	長岡	7.6	吉澤 義弘	小千谷	11.2	松崎 直之	柏崎	11.8
11	9:30	根津 広幸	十日町	6.5	増子 喜代秋	グリーンヒル長岡	7.8	高橋 克也	石地シーサイド	11.2	坂詰 富雄	長岡	11.7
12	9:39	高橋 明宏	ゴールド越後湯沢	6.7	曾根 明	阿賀高原	7.8	小林 朋芳	フォレスト	11.2	田村 春男	紫雲	11.7
13	9:48	白 源正	ヨネックス	7.0	塩野谷 信吾	越後	7.7	竹澤 康明	長岡	11.4	笠谷 良弘	笹神五頭	11.6
14	9:57	田村 修	阿賀高原	7.2	湯浅 良一	フォレスト	7.9	五十嵐 明	柏崎	11.5	横川 充	長岡	11.5

10番よりスタート

組	時間	氏名	所属	HC	氏名	所属	HC	氏名	所属	HC	氏名	所属	HC
15	8:00	山下 喜昭	長岡	12.7	長谷川 斉	新潟	16.3	池田 敏彦	小千谷	16.6			
16	8:09	水科 康則	フォレスト	13.8	片桐 政道	小千谷	16.2	今井 嘉一	長岡	16.6			
17	8:18	村松 一男	新潟	14.5	関 恒夫	十日町	16.1	大竹 雅春	KGAカード会員	17.3	林 繁夫	長岡	34.5
18	8:27	高坂 義光	長岡	14.6	久保田 邦彦	小千谷	15.5	金子 秀雄	石地シーサイド	18.0	本田 義憲	柏崎	28.1
19	8:36	新井 和雄	笹神五頭	14.8	長谷川 力男	阿賀高原	15.5	関 和雄	小千谷	18.0	久世 満	長岡	24.9
20	8:45	渡辺 俊一	小千谷	14.8	藤塚 俊孝	長岡	15.3	栗山 佳則	新発田城	19.9	吉川 喜代彦	石地シーサイド	23.0
21	8:54	北村 和秋	石地シーサイド	1.7	清野 秀雄	小千谷	10.1	竹澤 明純	長岡	10.3			
22	9:03	星野 節二	長岡	3.3	高橋 好一	小千谷	9.7	清水 雅春	十日町	10.3	丸山 和司	妙高高原	12.4
23	9:12	佐次 富士夫	小千谷	3.8	塚田 一博	ヨネックス	9.9	佐藤 実	柏崎	10.4	猪俣 政栄	長岡	12.4
24	9:21	吉原 博	長岡	4.8	柳村 富雄	阿賀高原	9.5	福井 正吾	柏崎	10.5	丸田 寛之	中峰	12.3
25	9:30	山本 寿人	笹神五頭	5.1	金子 雄一	松ヶ峯	9.5	本間 茂樹	ヨネックス	10.7	池田 幸夫	JGA個人会員	12.0
26	9:39	目崎 仁	小千谷	5.3	宮下 嘉克	長岡	9.3	高木 英之	十日町	10.7	岩田 正憲	妙高高原	12.0
27	9:48	保坂 恭久	十日町	5.7	諸橋 良幸	笹神五頭	9.2	上杉 昌祺	柏崎	10.8	丸山 文雄	妙高高原	12.0
28	9:57	酒井 家安	下田城	5.7	伊藤 暢	JGA個人会員	9.1	羽鳥 茂行	小千谷	10.8	平山 力三	フォレスト	11.8

競技委員長 豊 泉 幸 夫

※ 18ホールを終わり、男子A 13名、男子B 5名、女子A 6名、女子B 5名が決勝競技の出場資格を得る(タイが生じた場合は、マッチング・スコアカード方式(付属規則I(C)参照)にて決定する)。出場資格を得た選手は、本競技終了後に配布する「決勝競技参加申込書」を必ず受け取ること。申し込みは10月4日17:00までに手続を済ませること。

※ 指定練習日は8月27日(月),8月28日(火),8月29日(水),8月30日(木),の4日間とし、1人1日とする(会員並み扱い)。予約等の連絡は必ず開催倶楽部へ行うこと。予約は8月29日まで受け付ける(各日9:00~17:00)。指定練習日は、1ラウンド限定とし、2球以上のプレーは禁止する。また、選手のみで一般プレーヤーの同伴は認めない。

※ 病気、事故等のため参加を取り止める場合は、所属倶楽部・団体を通じて関東ゴルフ連盟ホームページ(www.kga.gr.jp)より申請すること。やむをえず所属倶楽部・団体に連絡できない場合は関東ゴルフ連盟(TEL03-6278-0005、FAX03-6278-0008)または、開催倶楽部(TEL0258-82-5111)に連絡すること。無断欠場の場合は本年度連盟主催競技および来年度本競技の出場を停止する。

※ 欠場者のあった場合、組合わせおよびスタート時間を変更することがある。

※ 競技当日、必ず**最新のJGAハンディキャップ証明書(別紙参照)持参し、朝の受付時に提示すること。**

※ クラブハウス、食堂、練習場は6:30にオープンする。

※ アプローチ、バンカー練習場は使用禁止とする。

※ クラブハウス入場時は、上着を着用すること。またコース内での携帯電話の使用は禁止する。

※ 予備日：平成24年9月5日(水)

※ **競技終了後、表彰式及びパーティーを行うので必ず出席すること。**

平成 24 年度 関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権-KGA 杯-新潟ブロック大会

開催日 : 9月4日(火)

開催コース : 小千谷カントリークラブ

本競技においては日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこの競技の条件・ローカルルールを適用する。
本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定や選手への通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、本競技の条件とローカルルールの違反の罰は、2打とする。

競技の条件

1. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

2. 使用球の規格(ゴルフ規則 175 ページ参照)

『公認球リストの条件・規則付 I (c)1b』

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・規則付 I (c)1a』(ゴルフ規則 174 ページ参照)

4. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

5. ホールとホールの間での練習禁止(規則 7-2 注 2)

『規則付 I(c)5b』(ゴルフ規則 179 ページ参照)

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b,c,d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間に行ったときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。この条件の違反の罰は競技失格(規則 6-8b 注)

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。

険悪な気象状況による即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

7. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、競技者が委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。
この条件の違反の罰は『規則付 I(c)2』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。ただし、次のものを含むスルーザグリーン芝草を短く刈ってある区域(規則 25-2 参照)にある距離計測のための黄色いペイント。ただし、そのペイントがプレーヤーのスタンスの障害となっても、それ自体は規則 25-1 に基づく障害とはみなされない。球がそのペイントの上にあるか、触れている場合、またはそのペイントが意図するスイング区域の障害となる場合のみ、規則 25-1 に基づいて救済を受けることができる。
3. ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
4. 動かさない障害物(規則 24-2)
 - a. 排水溝
 - b. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - c. 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)7 番ホール左側
 - d. 黄黒の縞杭
5. 電磁誘導カート用の 2 本のレール
2 本のレールの全幅をもってカート道路とみなす。球がこのカート道路の上にある場合、競技者は規則 24-2b(i)の救済を受けなければならない。
6. コースと不可分の部分
樹木に巻きつけたり、密着させてあるもの
7. ホールとホール間の白杭
2 番と 3 番ホール間の白杭を結ぶ線を越えて、現にプレーしているホール以外のコース上に止まった球は、アウトオブバウンズの球とする。
8. 防球ネット
7 番および 9 番ホール左側の防球ネットに球が近接しているために、意図するスタンスやスイングの区域の妨げになる場合、規則 24-2b(i)により処置するときは、その障害物の中や下を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。
9. 指定ドロップ区域
7 番ホールにおいて、球が防球ネットを越えて 9 番ホールに止まった場合、競技者は、罰なしに指定ドロップ区域にその球をドロップしなければならない。

注意事項

1. パッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。
3. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 人 1 コインを限度とする。
4. 使用ティーマーカーは「男子 A/B クラス→青色」「女子 A/B クラス→白色」とする。

競技委員長 豊 泉 幸 夫